

世界に誇るブランドストリート MIDOSUJI

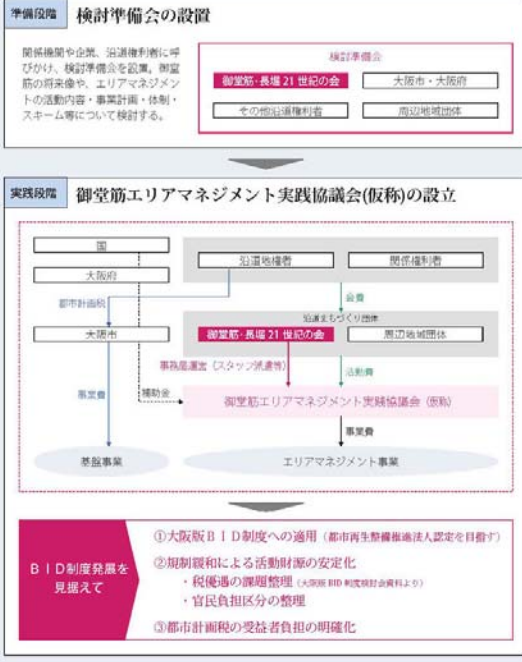


おしゃれな大人の散歩まち MIDOSUJI



ブランドストリート化に向けた、官民連携によるまちづくり

■ エリアマネジメント体制



■ エリアマネジメント活動

当会が多様なまちづくりニーズの受け皿として、エリアマネジメント活動を展開

- まちなみのグレードアップ**
 - 公共空間のグレードアップ
 - 御堂筋デザインガイドラインの運用と更新(アサイン協議への参画)
 - 店舗リーシングの相談と協議
- いつも快適な公共空間の提供**(賢い維持管理)
 - 美化・清掃活動
 - 植栽の維持管理
 - 放棄自転車対策
 - 各種マナーアップ・啓蒙活動
- 賑わいの創出**
 - イベント開催、イベント誘致
 - オープンカフェ設置
 - 広告掲出
 - ITを活用した情報発信と、地域内交流の活性化
- 交通環境づくり**(交通利便性の向上)
 - コミュニティサイクリングの開催
 - 駐輪場の確保運営(周辺エリア)
 - ペロタスター・改善府先送
 - 周辺駐輪場の再整備
- 安全安心まちづくり**
 - 施設計画に関する公的機関との連携(アサインの立案/対策組織の整備/備前集積の整備と管理/訓練実施等)
 - 防災啓蒙活動(講演会、キャンペーン等)
 - インフラの整備・更新

■ 御堂筋オータムパーティー2016 Candle Café in Midosuji

当初、側道を閉鎖し道路上での実施を計画



協議の結果
沿道の公開空地にて
2日間実施



■ キャンドルカフェの様子



■ 御堂筋サポーターズ倶楽部



御堂筋サポーターズ倶楽部
— MIDOSUJI SUPPORTERS CLUB —

御堂筋をパーク・ストリートへ

発 起 人

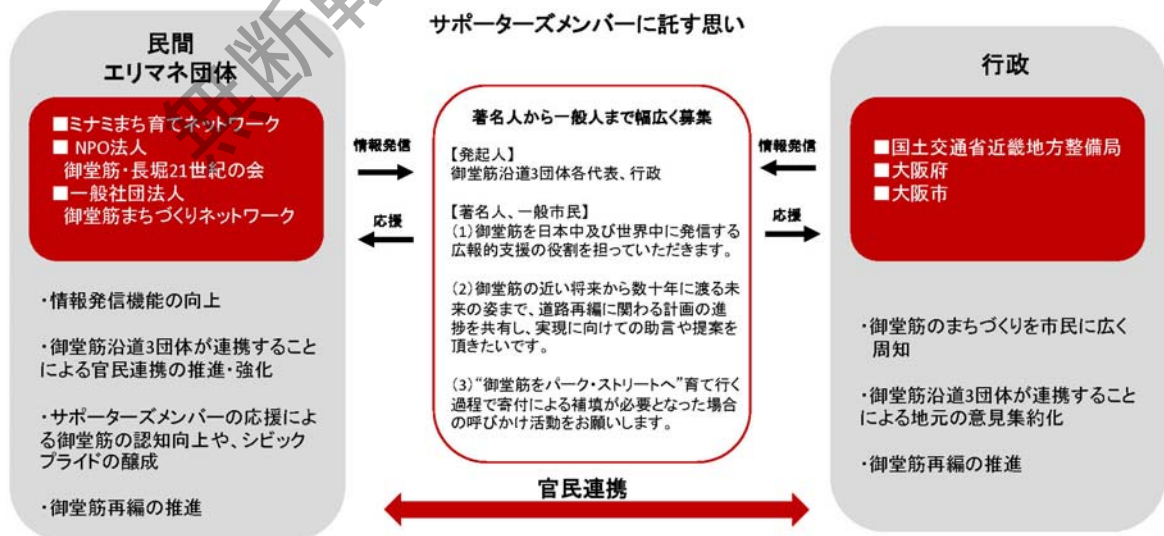
【御堂筋三団体】

- 山中諄 (ミナミまち育てネットワーク会長)
- 成松孝 (御堂筋・長堀21世紀の会理事長)
- 宮川正 (御堂筋まちづくりネットワーク代表理事)

【行 政】

- 池田豊人 (国道交通省 近畿地方整備局長)
- 竹内廣行 (大阪府副知事)
- 田中清剛 (大阪市副市長)

事務局体制・組織連携イメージ

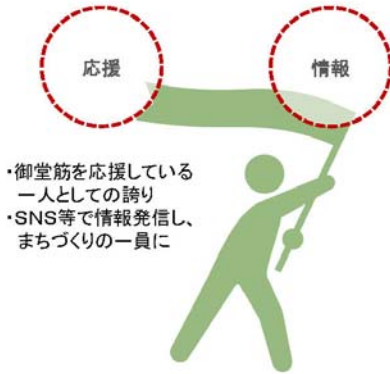


サポーターズメンバー

サポーターズメンバー

“御堂筋をパーク・ストリートへ” に賛同する人

御堂筋の最新情報を知りたい人
新しい御堂筋をつくる一員になりたい人
活動に賛同する人を募集します！



御堂筋ポータル

御堂筋の最新情報や街づくり活動情報を入手できます



・メルマガ配信等で御堂筋の最新情報やお得な情報をお届けします
・ポータルサイトを構築しイベント情報やまちづくり活動報告など鮮度の高い情報を提供していきます。

今後の活動ロードマップ



御堂筋シンポジウム2018 2018年4月6日開催



御堂筋シンポジウム 2018

“ALL OSAKA”で取り組む

これからの御堂筋将来像

事前申込制
参加無料
定員：300名
申込締切：3/31(土)

御堂筋道まちづくり3団体(NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会、ミナミまち育てネットワーク、(一社) 御堂筋まちづくりネットワーク)では、御堂筋を“車の道から人の道へ”というビジョンを共有し、各活動エリアの特色あるまちづくりを行っています。御堂筋シンポジウムでは御堂筋完成80周年記念事業での取り組み、これからの理想像を多様な観点から議論し発信する場を設けます。長道開通による賑わい創出社会実験から、パーレット社会実験。これからの御堂筋再編をソフト仕込みで支える(仮称)サポーターズ創発事業まで、市民連携“ALL OSAKA”による取り組みを紹介いたします。御堂筋完成80周年記念事業が一過性のものではなく、これを契機に御堂筋再編から大阪を変えていく機運と、次世代に受け継ぐ将来ビジョンを共有します。

開催日 4月6日(金) 18:00~20:30 (17:30開場・受付開始) 朝日生命ホール

主催 NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会、ミナミまち育てネットワーク、敬愛社法人 御堂筋まちづくりネットワーク
共催 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会「長道」国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市

主催： NPO 御堂筋・長堀21世紀の会
ミナミまち育てネットワーク、
(一社) 御堂筋まちづくりネットワーク

共催： 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

後援： 国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市

参加人数：294人

実行役員

 吉村洋文氏 大阪府知事 Yukihiro Yamamura 2006年 国土交通省近畿地方整備局 参事長兼、2011年11月 大阪府 副知事、2014年11月 大阪府知事、2018年1月 大阪府知事	 安藤忠雄氏 建築家 Takanori Yamamoto 建築家、建築設計事務所「SANAA」の代表取締役社長。2007年 建築界のノーベル賞であるプリツカー賞を受賞。2010年 建築界の最高賞であるプリツカー賞を受賞。2014年 建築界の最高賞であるプリツカー賞を受賞。2017年 建築界の最高賞であるプリツカー賞を受賞。
 池田豊人氏 敬愛社社長 Takahiro Yamamoto 2005年 敬愛社社長に就任。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役社長。	 田中清剛氏 大阪府知事 Shigeo Yamamoto 2008年11月1日、大阪府知事に就任。2012年11月1日、大阪府知事に就任。2016年11月1日、大阪府知事に就任。2019年11月1日、大阪府知事に就任。
 成松 孝氏 敬愛社副社長 Takanori Yamamoto 2005年 敬愛社副社長に就任。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。	 山中 謙氏 1F125ビルオーナー Shigeo Yamamoto 1F125ビルオーナー。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役。
 宮川 正氏 敬愛社副社長 Takanori Yamamoto 2005年 敬愛社副社長に就任。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。	 野原裕樹氏 敬愛社副社長 Shigeo Yamamoto 2005年 敬愛社副社長に就任。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の代表取締役副社長。

プログラム概要

1. 開会挨拶 (敬愛社 池田 豊人氏) (18:00~18:15)
2. 御堂筋完成80周年記念44周年記念式典(敬愛社) (18:15~18:30)
3. プログラムメッセージ(敬愛社) (18:30~18:45)
4. 敬愛社「ミナミまち育てネットワーク」の取り組みについて(敬愛社) (18:45~19:00)
5. 閉会挨拶 (敬愛社 池田 豊人氏) (19:00~19:15)

御堂筋シンポジウム2018





10. 4. 7
日本経済新聞 夕刊

御堂筋歩道拡張「必ず実現」

大阪市のメインストリート、御堂筋の将来像を巡り、沿道の街づくり3団体が主催するシンポジウムが6日、同市中央区で開かれた。吉村洋文市長は2025年の誘致を目指す国際博覧会（万博）までに御道2車線を歩道として開放する考えを述べた。

御堂筋のシンポジウムであいさつする吉村市長（6日、大阪市中央区）

大阪市長 街づくりシンポで

「車から人中心に変えていくという方向性を市民と共有し、必ず実現したい」と訴えた。

建築家の安藤忠雄氏も「デオメッセージを寄せ一御堂筋をたくさん歩ける場所にするべきだ。往復8kmを歩いて、100歳まで生きる健康都市大阪を目指してほしい」と賛同した。

パネリストの代表者として交差点では、街並みの整備や沿道の地産品の調整が課題として挙げられた。

10. 4. 7
読売新聞

未来の御堂筋議論

中設 歩行者天国化など示す

大阪のメインストリート「御堂筋」の将来像について、沿道3団体のシンポジウムが6日、大阪市中央区の朝日生命ホールで開かれた。完成100年となる2025年に全線を歩行者天国にする構想も紹介され、約300人が聞き入り、御堂筋沿道のまちづくり3団体が主催した。同席に出席した吉村洋文市長は「大阪が世界に誇る街に成長する上でも、御堂筋を人が集まる空間に変えたい」と願いを述べた。

3団体は、歩道と御道の一部にワッドデッキやベンチを設けて広がり空間を生み出す社会実験や、80周年記念事業として取り組む活動も報告した。大阪市の建設局の担当者が、3月30日に公表された将来構想の提案案を示し、御道を段階的に歩道化していく整備目標を説明した。

パネリストでは、国や市、3団体のメンバーが質疑応答した。3団体の一つ「ミナミまち育てネットワーク」の会長で、南船場駅の山中町取組協議会会長らしい文化を醸成している「御堂筋」で、水部大坂として水を引き入れるべきと提案。国

士交通省近畿地方整備局の「財産になる。国の政策そのものとして、国で仕上げ（歩道化）できたら、世界の行く必要がある」と語った。

御堂筋再編にむけての沿道まちづくり3団体提案書

完成100周年にむけての将来像案

2018年2月

ミナミまち育てネットワーク NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク

“御堂筋をパーク・ストリートへ”

はじめに

「大阪の経済・産業・文化を先導してきたシンボリック都市軸」としての御堂筋、また根柢並木の景観は、大阪の誇り、そして世界に誇る観光資源として存在しています。車の道から人の道へ、一本のシンボル軸から各エリアの特徴が積み出す賑わいの風景は、人々に愛され続ける御堂筋の新しい姿です。加熱する都市間競争、インバウンドの加速による都市の再編が急務となっている大阪には不可欠なビジョンです。沿道まちづくり3団体が“人の道”という共通のビジョンをもとに、各エリア特色のある御堂筋の風景を具現化していきたいと考えております。

2018年2月
ミナミまち育てネットワーク
NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会
一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク

歴史

“新たな歴史的街道再編の実現”

100年先を見据えた副市長の思想の受継ぐ、未来を見定めた道路空間の再編
大阪万博時の一方通行化。社会情勢の変化に対応してきた先進的な御堂筋の継承
車の減少やライフスタイルの変化に合わせた“人の道”の構築



水

“水都・大阪の象徴”

水と共に発展してきた水都大阪の歴史を表現
大阪の象徴としての御堂筋と水。組み合わせることによる魅力的な場所づくり
ヒートアイランド緩和や防災に繋がるグリーンインフラなど、人に寄り添う水空間



屏風

“エリアのカラーと統一感を描く御堂筋屏風”

各エリアの特色を活かした賑わいの空間づくり
世界に誇るシンボルロードにふさわしい風格ある景観
エリアマネジメントによる世界中、日本中から訪れる人々へのおもてなし



世界に誇る人の道、御堂筋の創造にむけて

<p>御堂筋沿道3団体共通ビジョン 【御堂筋をパーク・ストリートへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史：新たな歴史的街道再編の実現 水：水都・大阪の象徴 屏風：エリアのカラーと統一感を描く御堂筋屏風 	<p>ランドデザイン・大阪 【大阪の都市空間をより魅力的に、魅力を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市空間の再編 都市空間の再編 都市空間の再編 	<p>大阪都市力創造戦略 【世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力を創造・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市空間の再編 都市空間の再編 都市空間の再編 	<p>御堂筋本町地区地区計画・御堂筋デザインガイドライン 【大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 御堂筋の歴史と革新 御堂筋の歴史と革新 御堂筋の歴史と革新 	<p>御堂筋100周年記念事業 【世界の最新モデルとなる、人中心のストリートへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 御堂筋の歴史と革新 御堂筋の歴史と革新 御堂筋の歴史と革新
---	---	--	---	--

官民連携“ALL MIDOSUJI”による将来像の作成

- STEP1 御堂筋 80周年
短期ビジョン：御道閉鎖完成
- STEP2 Olympic2020
中期ビジョン：御道閉鎖を新橋交差点まで北上
- STEP3 2022年御堂筋 85周年
長期ビジョン：全区間御道閉鎖

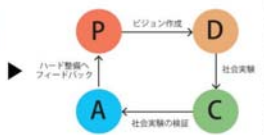


“人の道へ”を実現させる仕組づくり



官民連携、沿道まちづくり3団体連携による御堂筋再編への体制構築

ハード	ソフト	マネジメント
<ul style="list-style-type: none"> なんば駅周辺道路空間再編 御道閉鎖の北上 	<ul style="list-style-type: none"> 御堂筋サポーターズ倶楽部 沿道まちづくり3団体連携 	<ul style="list-style-type: none"> 御道閉鎖にぞい創出社会実験 パークレット社会実験



- STEP4 2037年御堂筋 100周年
将来ビジョン：御堂筋のローカル・ストリート化
(区域による整備内容の検討が必要)



“御堂筋をパーク・ストリートへ”



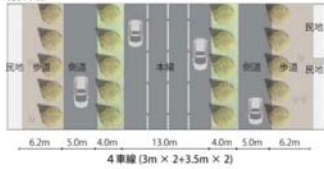
タイムライン 社会情勢

< STEP0 > ■ 100年先を見た車社会

1937年
完成



1970年
一方通行化
現状車線



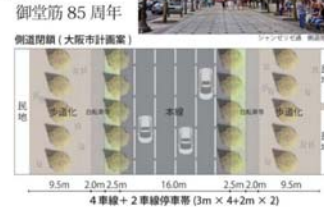
< STEP1 > ■ 車の減少 ■ 車から人の道へ

側道閉鎖に向けて (TypeA: 側道閉鎖型)

2017年
御堂筋 80周年



2022年
御堂筋 85周年



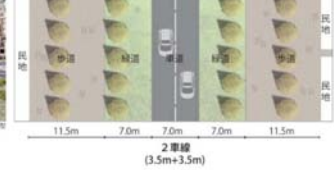
< STEP2 > ■ 自動運転 ■ AIによる交通管制 ■ 人口減少(約1900万人)

本線縮小に向けて
2037年 御堂筋 100周年

(TypeB: 本線縮小型)



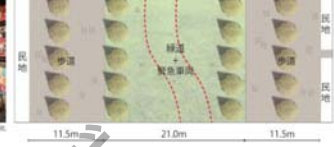
二車線 (交差点付近は右左折レーン有)



(TypeC: 車道全閉鎖型)



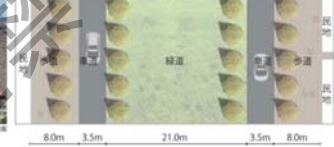
全面緑化 + 緊急車両



(TypeD: 本線閉鎖側道車道型)



中央に緑道を設け、車道を側道へ



< 海外事例 >

TypeA 側道閉鎖型

シャンゼリゼ通り / パリ / フランス



- 整備年: 1998年
- 背景: フランスワールドカップを契機にバイク、自転車軽車が多い側道を人の道へ
- 特徴: 片側10m歩道 → 片側20m歩道
- 道路幅員: 幅70m 延長3km

< 日本類似例 >

新虎通り / 東京



- 道路幅員: 幅40m 延長1.4km (歩道13m)

TypeB 本線縮小型

St. Joan Boulevard / マドリード / スペイン



- 整備年: 2011年
- 背景: 歩行者優先の為に歩道とレクリエーション広場を兼ね備えた空間を整備
- 特徴: 片側4m歩道 → 9.6m歩道 + 11m広場
- 道路幅員: 幅50m 延長1.2km

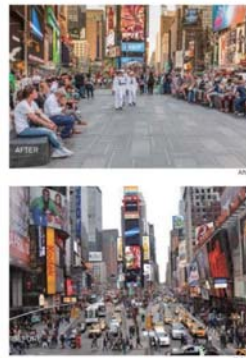
四条通り / 京都



- 道路幅員: 幅22m 延長1.12km (歩道6.5m)

TypeC 車道全閉鎖型

タイムスクエア / NY / USA



- 整備年: 2010年
- 背景: 荒廃したエリアをBIDにより再生
- ブロードウェイのシンボル広場として整備
- 特徴: 3車線道路 → 12,600㎡の広場
- 道路幅員: 幅18m 延長390m

三宮クロススクエア (計画中) / 兵庫



- 三宮駅半径約500mエリア
- フラワーロード道路幅員50m

TypeD 本線閉鎖側道車道型

Georgia Street / インディアナポリス / USA



- 整備年: 2012年
- 背景: スーパーボール開催とコンベンションセンター整備を契機に再編
- 特徴: 6車線道路を → 2車線、幅約12mの広場を中央に
- 道路幅員: 幅27m 延長450m

札幌大通公園 / 北海道



- 道路幅員: 幅105m 延長1.5km (公園65m)









御堂筋を
パーク・ストリートへ

御堂筋サポーターズ倶楽部

— MIDOSUJI SUPPORTERS CLUB —

サポーターズメンバー 大募集!!

●「御堂筋サポーターズ倶楽部」とは

大阪にゆかりのある著名人や、御堂筋を応援したい人に参加を呼びかけ、御堂筋の高増らし、生まれ変わる御堂筋の存在像を応援し、日本中及び世界へ発信していく事を目的とします。
*御堂筋をパーク・ストリートへ*を目標とし、個人個人の新しい御堂筋への期待が集まる“ALL OSAKA”の応援団をイメージしています。

※ 正式名称は申請後決まります。



主催：御堂筋サポーターズ倶楽部実行委員会
*大阪府・大阪市・東淀川区役所
*大阪府議会・大阪市議会
*一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク

「御堂筋をパーク・ストリートへ」

「大阪の経済・商業・文化を先導してきたシンボルの御堂筋」としての御堂筋。また鉄骨並木の景観は、大阪の誇り。そして世界に誇る観光資源として存在しています。車の速から人の速へ、一本のシンボル軸から各エリアの特徴が響み出す賑わいの風景は、人々に愛される続ける御堂筋の新しい姿です。加熱する都市再生競争、インバウンドの増加による都市の再編が急務となっている大阪には不可欠なビジョンです。沿道まろづくりの団体が「人の道」という共通のビジョンのもとに、各エリア特色のある御堂筋の風景を具現化していきたいと考えております。

御堂筋の最新情報を知りたい人、
新しい御堂筋をつくる一員になりたい人、
活動に賛同する人を募集します！



＜サポーターズメンバー＞

Midosuji Supporters Club



応援
Support

情報
Information

◎御堂筋を応援している1人としての誇り、
◎SNS等で情報発信し、まろづくりの一日に。

＜御堂筋ポータル＞

Midosuji Portal

御堂筋の最新情報や、まろづくり活動情報が入手できます。

◎メールマガジン等で御堂筋の最新情報や活動情報を配信します。
御堂筋のイベントや活動、イベントの開催予定やまろづくり活動参加者、
最新のまち情報をお届けいたします。

◎まろづくりに積極的な参加を呼びかけております！

サポーターとしての活動の流れ → サポーターに登録 → 会員証の発行 → 御堂筋の活動GET! → SNS等による御堂筋の魅力発信 → 御堂筋ポータルで御堂筋の最新情報発信の拡充 → 御堂筋のまち情報発信の拡充

メンバー登録はこちらから

<http://midosuji.info>

スマートフォン、PCからwebページで会員登録いただけます。
メンバー登録がまだの方は、こちらから登録をお願いします。

登録要項

- ◎活動にご賛同のうえ、お申し込み、ご参加いただけます。
- ◎会費は無料です。活動費や保険料等はご負担いただくものではありません。
- ◎活動費はポイント制の報酬については、メンバーズプログラムを達成してご報告・ご褒美いたします。
- ◎ご参加いただいた場合、お申し込みの時点で、会員登録料の呼びかけがSNS等により増加していただく場合があります。お問い合わせください。
- ◎また、多くの御堂筋のまち再生活動にも参加しております。

お問い合わせ

御堂筋サポーターズ倶楽部実行委員会
（株式会社 D-DESIGN K）（担当：吉岡）
〒543-0061 大阪府大阪市中央区船場3-6-1（サト）郵便箱 79
TEL 06-6574-5151 FAX 06-6574-5152
E-MAIL support@midosuji-supporters.com

◎個人情報保護の取扱いについて
本ウェブサイトでは、御堂筋サポーターズ倶楽部（以下「本ウェブサイト」と称する）が、本ウェブサイト上で収集・取得した個人情報を、本ウェブサイト上で取り扱うものとします。また、本ウェブサイト上で収集・取得した個人情報を、本ウェブサイト上で取り扱うものとします。

本ウェブサイト上で収集・取得した個人情報は、本ウェブサイト上で取り扱うものとします。また、本ウェブサイト上で収集・取得した個人情報を、本ウェブサイト上で取り扱うものとします。

6) 福岡のエリアマネジメントの発展史

後藤 太一 氏 (リージョンワークス合同会社代表社員)

2018.05.08

全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム

エリアマネジメント活動のはじめ方

福岡のエリアマネジメントの発展史

Region Works

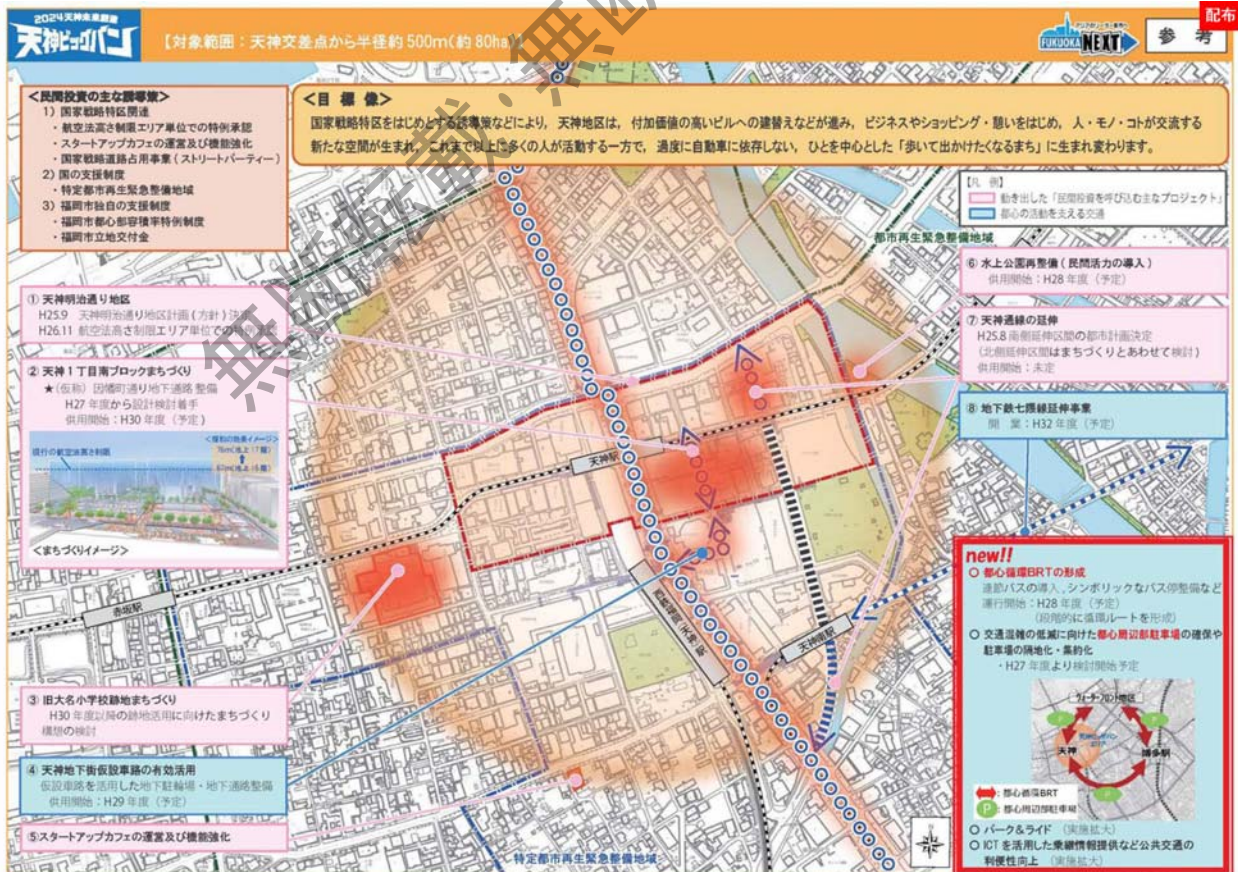
リージョンワークス合同会社

代表社員

後藤太一

Region Works

1



Region Works

2

エリアマネジメントの発展段階（福岡市天神の例）

情報発信、集客イベントから不動産事業、ビジネス開発、ストック形成への発展

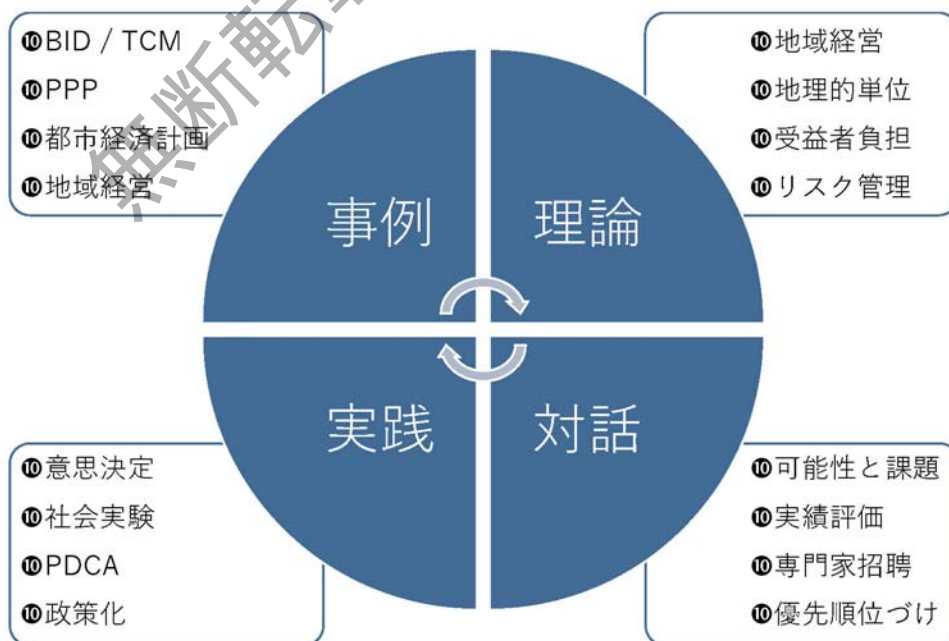


Region Works

3

ステークホルダーの共同学習を通じて福岡流「型破り」を実現

理論なき実践は盲目であり、実践なき理論は空虚である（イマヌエル・カント）



Region Works

4

福岡天神地区のエリアマネジメント団体（広義）



2006年4月13日～

2008年6月13日～

2011年4月13日～

エリアマネジメント団体
(狭義)

地権者協議会

産学官民連携主体

We Love 天神協議会 設立経緯



各位

福岡市企画調整部・(財)福岡都市科学研究所

天神まちづくりに関する意見交換会のご案内

都市政策、官民連携、地域自治に関する研究の第一人者である保井美樹さんとの意見交換会のご案内をさせていただきます。

保井さんは、ニューヨークでの先進的実務・留学経験および全国各地の事例研究の成果を、出身地である福岡での実践に役立てたいと希望されているため、福岡市役所内部での講演会に先立ち、民間のキーパーソンとの意見交換会を設けさせていただきました。当日は、保井さんからの講話の後、商業振興・安全安心・自転車・都心構想など天神地区の具体的問題への取組み方について、少人数で双方向の議論を行う予定です。

講師略歴：

保井美樹 東京大学先端科学技術研究センター助手/NPO法人 ComPus 理事



福岡県生まれ。1991 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1995 ニューヨーク大学公共行政大学院都市計画専攻修了。1991～5 損害保険会社にて開発プロジェクトのリスクマネジメント等担当。1996～7 Institute of Public Administration 研究助手。1997～2002 (財)東京市政調査会研究員。2000～01 の在外研究期間中は、世界銀行都市開発課、Institute of Public Administrationにて勤務。2002～ 現職。

日時： 11月28日(金) 13:30～15:00

場所： 福岡市役所 9階 特別第2会議室

案内先(敬称略・順不同)：

中村明生(岩田屋)

山田良太(西日本新聞)

持永英輔(新天町)

竹石羽弘(天神FM)

高崎繁行(天神委員会)

鍋山徹(日本政策投資銀行)

Region Works

7

概要

【参考】天神ピクニック

配布

12

We Love Tenjin

2004年11月開催(以降、2009年まで毎年実施)

歩行者天国(オープンカフェ)社会実験や放置自転車対策、フリンジパーキング実験など「交通社会実験」を実施



【天神ピクニック2004の総括】

①来街のニーズに応え、商業活動の活性化につながる憩いの場創出の意義

⇒歩行者天国とオープンカフェは、食事や飲食を楽しむほか「ゆっくり」過ごす空間として利用され、「憩い」の創出に大きな効果があった。

②3つの施策の連携と総合的取組による相乗効果と有効性

⇒歩行者天国やオープンカフェの設置だけでなく、安全快適環境と交通システムが相互に関連し、魅力向上に相乗効果を発揮する。

③自治的組織運営の強化の必要性

⇒継続的な取組みを続けるには、事業者の参加の輪を広げ、地域でつくる公的にも認知され得る推進組織・体制と、恒常的な事務局の設置、さらには専門的にまちづくりに携わる人材の育成が必要。

Region Works

8

I Love 天神フォーラム 開催概要

趣旨

- 天神は多様なまちづくり活動を重ねて発展してきた。
- しかし、近年では集客力の低下、治安悪化、交通渋滞、違法駐輪など、従来からの取組みでは解決できない課題が顕在化しつつある。
- これに対し、天神ピクニック(社会実験)、天神・渡辺通まちづくり研究会の提言、都心構想などにおいて、戦略的なエリア・マネジメント(=地域主体による「まち」の企画・運営・管理)によって地域の課題を解決しようとする動きが見られる。
- これらを踏まえ、七隈線開業と地下街延伸によって地域のインフラ整備が一段落する機会を捉え、エリア・マネジメントの「天神モデル」の実現に向けた機運を高めるための連続フォーラムを開催する。

目的

1. エリア・マネジメントの中核を担う若手主体の実践グループの形成
2. トップおよび同僚からの実践グループへの応援団(サポーター)の発掘
3. 更に幅広い支援獲得に向けた「エリア・マネジメント」に関する市民啓発

主催

福岡アジア都市研究所、西日本新聞社、
マナーアップ天神宣言実行委員会

共催(順不同)

天神モビリティタウン協議会社会実験実行委員会、
天神・渡辺通まちづくり研究会、西鉄天神委員会、
福岡商工会議所、ビジターズインダストリー推進協議会

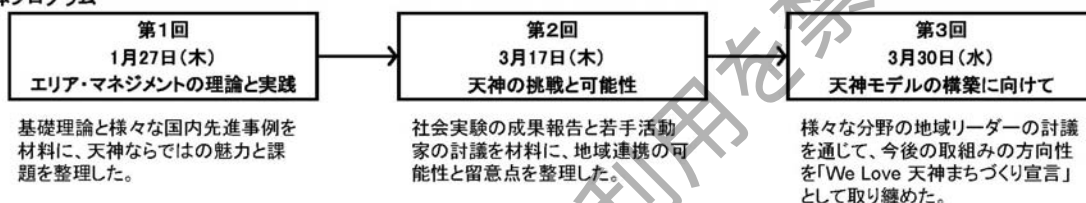
後援(順不同)

大名校区自治連合会、天神サザン通り会、天神西通り発展会、
天神発展会、都心界、新天町商店街、福岡地下街開発、
福岡新都心開発、西日本鉄道、福岡銀行、
天神コアラ、日本政策投資銀行、
国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所、福岡市

参加者数

394人(第1回～第3回の延べ人数。運営スタッフを除く)

全体プログラム



「I Love 天神」フォーラムのまとめ 「We Love 天神 まちづくり宣言」

1. 「I Love 天神」の思いを新しいまちづくりに挑戦するエネルギーへ

- 新しいまちづくりの舞台は整いました！ 地下街の延伸や七隈線の開業など天神のインフラ整備が一段落した今、交通利便性や安全・安心など、個々の主体単独の取組みでは解決できない、主にソフトにかかわる都市問題に本格的に取組む環境が整いました。
- 天神の魅力である、多様な都市機能のコンパクトな集積と、様々な主体の自由闊達なネットワークを活かして、日ごろから天神で働き、学び、楽しんでいる私達みんなの「I Love 天神」の思いをまちづくりのエネルギーとした、創造的なまちづくりに挑戦して行きましょう。

2. 「連携」による相乗効果と継続性の高いまちづくりへ

- 少子高齢社会への対応、環境負荷の低減、地域の競争力と活力の増進など、今後も大きく変化していく社会のニーズへの対応が天神においても求められています。
- 今こそ、社会のニーズに応じながら、天神ならではの魅力を踏まえ、これまで整備されてきた都市基盤や施設群などのハード活用と、コミュニティ活動などのハート育成に重点を置いた、新しいまちづくりへの取組みが必要です。
- その実現には、天神と周辺地区との協調、施策の組み合わせ、組織間の協働によって、地域のエネルギーを増幅し、取組みの相乗効果と継続性を高める「連携」の思想こそが必要です。こうした「連携」による新しいまちづくりに挑戦して行きましょう。

3. 「We Love 天神」のまちづくりの場と仕組みづくりへ

- その第一歩として、連携の思想に基づく創造的なまちづくりへの取組みを協議する場として「『We Love 天神』協議会(仮称)」づくりを進めます。
- そこでは、社会実験やまちづくり活動などのこれまでの経験と蓄積に基づき、参加主体がお互いを尊重しながら、天神の将来を見据えた議論を重ね、まちづくりの目標と戦略を明確にし、課題の解決と魅力の向上に迅速かつ継続的に皆が協働して取り組むためのまちづくりの仕組みづくりを進めます。
- まちづくりの場づくりと仕組みづくりを通じ、みんなで協力して、迅速に課題を解決し、時代の変化に応じながら天神をさらに魅力的なまちへと育てて行く「We Love 天神」のまちづくりに取り組みましょう。

2005年3月

「I Love 天神」フォーラム

財務イメージ

(単位:千円、金額は平成18年度予算の概算)

収入	②年会費	① 事業収入 2,500	②自治活動費 22,500
	3,000	④ 各種協賛金 7,400	
	②クリスマス負担金 46,700	③行政負担金 17,000	
支出	組織運営費	クリスマス事業費	まちづくり事業費
	3,000	55,100	31,000
			まちづくり計画策定費
			10,000

- ① 事業収入
 - ・ オープンカフェ収入、屋外広告管理収入等
- ② 会員負担金
 - ・ 会員による年間の負担金。年会費、自治活動費、クリスマス負担金から構成される。
- ③ 行政負担金
 - ・ 福岡市等によるプロジェクトベースの事業負担金。
- ④ 各種協賛金
 - ・ 広告主等による広告協賛金、事業協賛金等から構成される。

想定される会員

ビル番号	ビル名	新着者		管理会社	主なテナント		想定される会員 (ビル・施設に責任があると考えられる主体)
		名称	延べ床面積(m ²) (比率(%))		名称	占有面積(m ²)	
36	日本生命スカイバーキング	日本生命保険相互株式会社	162.29 (0.0%)				日本生命保険相互株式会社
10	(今泉1丁目495)	西日本鉄道株式会社	502.34 (0.0%)				西日本鉄道
17	(今泉1丁目402)	西日本鉄道株式会社	583.58 (0.1%)				西日本鉄道
8	護国地所福岡駅前ビル	護国地所株式会社	2,155.50 (0.2%)				紙与産業
14	ソラリアパークサイドビル	西日本鉄道株式会社	3,138.07 (0.3%)				西日本鉄道
16	西鉄イン天神	西日本鉄道株式会社	3,359.42 (0.3%)		西鉄イン天神		西日本鉄道
44	ビックカメラ1号店	西日本鉄道株式会社	3,988.00 (0.4%)		ビックカメラ	3,988.00	ビックカメラ
37	毎日福岡会館	株式会社毎日新聞社	5,291.99 (0.5%)				毎日新聞社
30	フタタ本社ビル	株式会社フタタ	5,957.68 (0.6%)				株式会社フタタ
31	天祥ビエトロビル	株式会社ビエトロ	6,859.61 (0.7%)				株式会社ビエトロ

会員負担金推計

(単位:千円)

会員名	負担額	内訳		
		年会費	自治活動費 (負担率(%))	クリスマス協賛金
イムズ	1,075	50	500 (2.22)	525
イムズテナント会	550	50	500 (2.22)	
新天町商店街商業共同組合	1,075	50	500 (2.22)	525
ダイエーショッパーズ福岡店	1,275	50	700 (3.11)	525
天神ビブレ商店会	825	50	250 (1.11)	525
天神ビブレ	300	50	250 (1.11)	
西日本エルガーラビル	400	50	350 (1.56)	
(株)博多大丸	1,175	50	600 (2.67)	525
西日本新聞社	300	50	250 (1.11)	
西日本新聞会館	300	50	250 (1.11)	

自治活動費の基準額

平成18年度ビル規模別自治活動費一覧表

ランク	金額 (単位:千円)	基準面積 (単位:㎡)
A	100	0以上～5,000未満
B	200	5,000以上～10,000未満
C	300	10,000以上～20,000未満
D	500	20,000以上～30,000未満
E	700	30,000以上～40,000未満
F	1,000	40,000以上～55,000未満
G	1,300	55,000以上～75,000未満
H	1,500	75,000以上



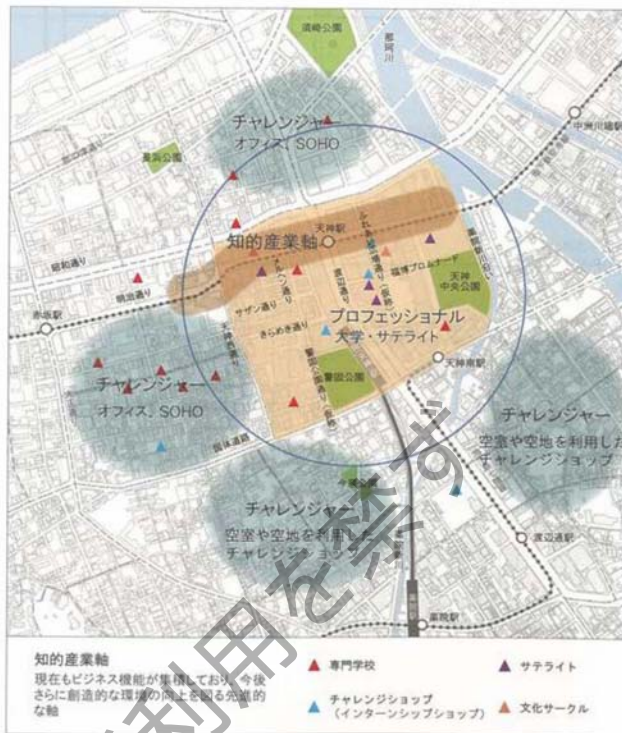
We Love 天神協議会 天神まちづくりガイドライン

目標像3
「持続的に発展するまち」



戦略8
「まちの新陳代謝戦略」

創造的活動のエリアと軸のイメージ



天神地区都市機能更新研究会「環の街 天神」構想

環の街 天神

～経済・環境・社会の「環」による持続可能な都市づくりを目指して～
天神明治通り地区のランドデザイン

2007年12月

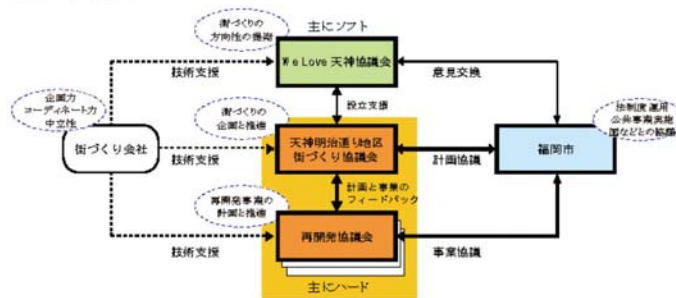
天神地区都市機能更新研究会
(九州電力・福岡銀行・西日本鉄道)

- 競争と連携の仕組みの基盤組織として、天神明治通り地区の地権者協議会を設置する。
- 並行して、下記3つのような大きな課題を解決するための仕組みづくりを、広範な関係者に呼びかける。
 - ・都心戦略の深化：マーケティング調査に基づくビジネス集積形成戦略の高度化
 - ・法制度の見直し：経済合理性の下で機能更新を進めるための規制誘導策の見直し
 - ・社会基盤の整備：都市全体を見据えた交通やエネルギーなどのインフラの整備

■地区体制の構築

都市ストック形成の観点からは、不動産開発事業の中核となる地権者が街づくりの中核となる必要がある。そのため、個々の事業母体となる再開発協議会等とは別に、事業間の連絡調整や街づくり活動を担う地権者協議会を設立し、連鎖型の都市機能更新を街づくりと個別事業の両面から推進する二層の体制を築く。

○望ましい地区体制のイメージ



- 世界経済の舞台は、多様な人と人が集まる都市同士のネットワークである。
- 種間と同規模の都市でも、個性的な都市戦略によって世界経済の中で存在感のある都市が見られる。
- 成功事例の共通項は、外部の人材を引き付け、市民に愛される「質の高い都市づくり」である。

■フォーチュン500社の本社所在地



欧米では国際企業が多く都市に分散して立地しているが、日本では東京への集中が顕著である。国際企業が立地する欧米の都市の多くは、歴史・文化を大切にしながら魅力的な都市を創出しつつある。歴史・文化を大切にしながら、交通インフラで都市と世界に結ばれた外部ビジネスネットワークを構築した都市も多い。

ミュンヘン/ドイツ MUNICH / GERMANY



① 131万人
② 2,147億ドル
③ 106.4千円
④ Allianz (23.8%)
⑤ BMW (10.34%)
⑥ BMW (4.47%)
⑦ Munich Re Group (58.1%)
⑧ MAN Group (11.02%)
⑨ Bayer AG (Lundbeck) (18.81%)

バイエルン州の中心都市であるミュンヘンはドイツ第3の規模で、周辺には他に大規模な都市はなく、中核的な都市圏を形成している。ドイツの金融の中心地である。その地、自動車産業と並び、IT産業が盛んで、約2億円で600万人以上が訪れる世界的に有名なビール、オクトーバーフェストも開催される。

頂上の中心は歴史的背景が感じられる。市街地、内部の主要な交通手段は歴史的背景で残っている。鉄道駅でバス、有軌車、自転車などの大規模な建設は旧市街地の周囲に広がっている。

高層建築の建設は中心部から約5kmに限定する。周辺部の外側での高層ビルで、その高さはミュンヘン市のランドマークであるラファエル塔の高さ90mを超えないように制限されている。

ウィーン/オーストリア VIENNA / AUSTRIA



① 210万人
② 262.7億ドル
③ 182.6千円
④ KTM (16.2%)

オーストリア最大の都市で、文化、経済、政治の中心であるウィーン市は、歴史的背景を生かした都市計画で、19世紀後半の都市の大改造で旧市街の周囲に放射状道路が整備され、市議会、市庁舎、大学、博物館等の主要施設が集中配置された。これらを中心とした都市圏が形成されている。旧市街は、世界遺産であり、観光が重要な役割を担っている。

歴史的背景を尊重する一方、ウィーン・ビジネスパークには10kmを超える高層ビルを含む大規模な開発が行われている。

金融、保険の他に工業の中心地であり、国内の工業生産の約1/5を占める。ハイテクテクノロジー産業の成長にも注力している。また、ウィーン・インターナショナルセンターには、国際機関の本拠地や事務局が立地しており、2006年の国際会議の開催件数は世界1位であった。

- ① 都市圏人口 ② 国内総生産 (GDP) ③ 労働生産性 (GDP/都市圏労働人口) ④ 主要な社会企業 (市場売上高: 百万円)

福岡/日本 FUKUOKA / JAPAN



① 156.1万人
② 1,137億ドル
③ 248.9千円
④ 大村建設 (31.32%)
⑤ 日本自動車部品 (16.25%)
⑥ 三菱重工 (16.25%)
⑦ 三菱重工業 (16.25%)
⑧ 三菱重工業 (16.25%)

福岡市は、福岡県下の2つの100万都市のひとつであり、九州を管理する政府の最先機関が集中した地方行政の拠点として、また、民間企業等の支店などが集まる支店経済都市として発展してきた。古くより人海との交わり、海軍基地などの交通により発展した。古くより人海との交わり、海軍基地などの交通により発展した。古くより人海との交わり、海軍基地などの交通により発展した。

シアトル/アメリカ合衆国 SEATTLE / UNITED STATES OF AMERICA



① 352万人
② 25,741億ドル
③ 100.4千円
④ Costco Wholesale (9.15%)
⑤ Microsoft (14.25%)
⑥ Washington Mutual (16.56%)
⑦ Waypoint (22.25%)
⑧ Pacer (18.81%)
⑨ Amazon.com (11.11%)
⑩ Starbucks (7.77%)

シアトル市はカナダとの国境近くに位置する西岸の重要な港湾都市の一つで、紙・パルプ工業を軸として発展し、現在ではソフトウェアと共に航空機産業の発展とともに発展した。現在、シアトル市には、マイクロソフトをはじめとしたIT産業のハイテク企業、ハイテク企業の研究開発センターを擁する、大企業が集積する。大企業が集積する。

都市計画は、歴史的背景が感じられる。市街地、内部の主要な交通手段は歴史的背景で残っている。鉄道駅でバス、有軌車、自転車などの大規模な建設は旧市街地の周囲に広がっている。

ポートランド/アメリカ合衆国 PORTLAND / UNITED STATES OF AMERICA



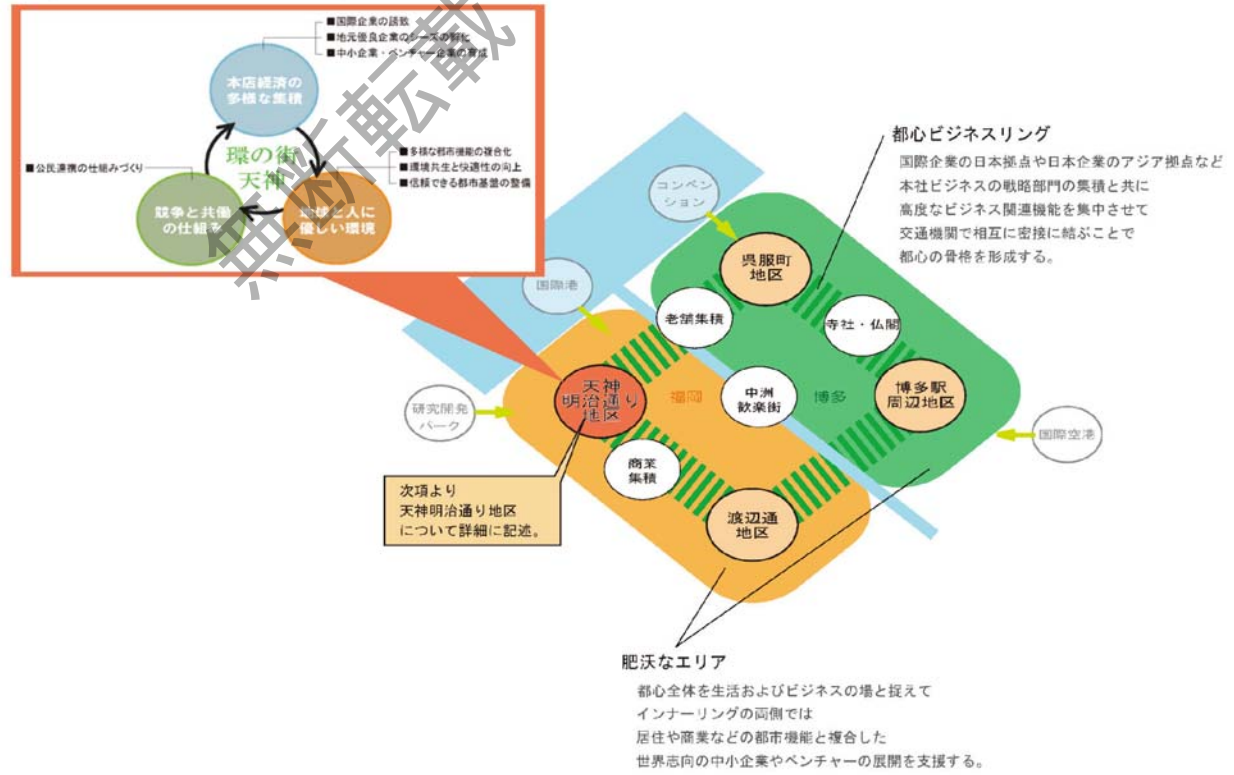
① 210万人
② 287億ドル
③ 180.6千円
④ Nike (14.9%)
⑤ Shifiver Steel Industries (13.2%)

ポートランド市は、周辺の農業地域として発展し、現在では豊かな自然環境を生かした都市である。鉄道、高速道路、港湾施設、空港を効果的に配置した清静都市である。近年、ポートランド市には、IT産業、電子部品、情報、通信関連企業が集積し、ワシントン州のシリコンバレーと呼ばれる「シリコンフォレスト」と呼ばれるハイテク産業の集積地を形成している。

市街地では良好な環境を維持するために高層ビルが建てられており、ダウンタウン以外に複数の地区を分散して開発されている。

公共交通機関の先進都市で、バス、ライトレール、路面電車等が一体のシステムとして整備されている。市街地には高層ビルが立ち並び、個性豊かな住宅地の形成を支えている。特にダウンタウンではトランジットモールの導入、公共交通無料のエリアの設定により活性化が図られている。

骨格と後背地の連携による「本店経済」の集積形成



都心再生シンポジウム

WL+
We Love Tenjin

会員各位

We Love 天神協議会事務局

「都心再生シンポジウム」開催のご案内

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より協議会活動に関し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、下記内容にてシンポジウムが開催されますので、ご案内いたします。

ご参加をご希望される場合は、添付用紙に必要事項をご記入の上、3月26日（水）までに、ご返信いただければ幸いです。

今後とも、何卒よろしくお願いいたします。

記

- タイトル：「都心再生シンポジウム〜クオリティの高い都心への提言〜」
- 日時：平成20年3月31日（月）13:00 開場 13:30 開演 16:00 終演予定
- 場所：天神ビル11階 10号会議室（中央区天神 2-12-1）
- 内容（予定）：（1）海外事例報告 九州大学大学院博士課程 高橋 美保子氏
（2）天神モビリティタウン協議会からの提言
（3）パネルディスカッション「クオリティの高い天神を目指して」
パネリスト 九州大学大学院教授 出口 敦教授
九州産業大学院工学部 辰巳 浩准教授
福岡市都市整備局 中村 耕二局長
三菱地所九州支店 森 克明支店長
コーディネーター 佐賀大学理工学部 三島 伸雄准教授

Region Works

19

プロジェクトチーム会議



Region Works

20



配布

FUKUOKA URBAN FORUM

Work, Life & the City in the Future—the Case of Tenjin

10:30 ケーススタディ 「天神橋筋通リランドデザイン」
天神橋筋を通りつくり協賛会

14:00 INTA 報告 INTA

15:00 ラウンドテーブル 天神橋筋を通りつくり協賛会、INTA、福岡市等

18:00 閉会 (予定)

INTA 報告では、INTA パネルメンバーと福岡メンバーによる「天神橋筋を通りつくり協賛会」のメンバー、INTA 協賛メンバーが、天神橋筋を通りつくり協賛会を制作していただき、協賛会のご紹介が予定されています。

ラウンドテーブルでは、INTA パネルメンバー、福岡市、天神橋筋を通りつくり協賛会のメンバー、INTA 協賛メンバーが、天神橋筋を通りつくり協賛会をよりよくするために、天神橋筋を通りつくり協賛会について議論を行います。

FUKUOKA URBAN FORUM

Work, Life & the City in the Future—the Case of Tenjin

福岡都市フォーラム 天神橋筋に、これからの仕事、生活、都市のあり方を考える

2009年4月9日 木曜日 開催9:00-閉会 18:00(予定)

アトラクス福岡 協賛会事務局(1F)

- 国際的なまちづくり推進機構「INTA」のパネリストとともに、都市の新しいあり方「ランドデザイン」を模索します。
- 市民とともに、都市デザインや都市計画の海外事例との比較を通じて都市の「ランドデザイン」の意識を育みます。
- 都市開発の主要関係者とともに、世界地図上に載るだけの高い能力を福岡が備えているかを検証します。
- 「先進経済都市」の都市開発戦略に関するアイデアを専門家どうしで共有し、社会に発信します。
- 公共・民間セクターの地域リーダーとともに、都市再生および地域経済活性化を考えます。

天神橋筋を通りつくり協賛会事務局(天神橋筋を通りつくり協賛会事務局)より提供されています。ご了承ください。

プログラム

9:30 開会あいさつ 福岡市長、天神橋筋を通りつくり協賛会会長、INTA 事務局

9:45 高層建築「新しい国際社会における都市の再生」(仮題)
ロンドン・オセオム・ロンドン大学都市計画学部長

10:30 ケーススタディ「天神橋筋通リランドデザイン」
天神橋筋を通りつくり協賛会

11:00 海外事例報告 INTA

14:00 INTA 報告 INTA

15:00 ラウンドテーブル 天神橋筋を通りつくり協賛会、INTA、福岡市等

18:00 閉会 (予定)

18:30 カクテル・パーティー (開催予定)

FUKUOKA URBAN FORUM

Work, Life & the City in the Future—the Case of Tenjin

福岡都市フォーラム 天神橋筋に、これからの仕事、生活、都市のあり方を考える

2009年4月9日 木曜日 開催9:00-閉会 18:00(予定)

アトラクス福岡 協賛会事務局(1F)

INTA が活躍の目で福岡を語る

INTA

INTA (国際的なまちづくり推進機構) は、世界40ヶ国約3,000名で構成される国際的なまちづくり推進機関、ヨーロッパを中心に、ロンドン、アムステルダム、バルネーユなど各国の都市において、豊富な都市開発の経験と知識を有しています。今回は、福岡のまちづくりの現状と、国際的なまちづくりの動向とを共有し、福岡のまちづくりの未来について議論を行います。

高層建築「新しい国際社会における都市の再生」(仮題)としてご講演いただきます。

福岡パネリスト (日本側の専門家) メンバー

天神橋筋を通りつくり協賛会

- 1. 野村 浩**
INTA 副会長、都市プランナー
- 2. 中村 謙二**
福岡市まちづくり協賛会理事長
- 3. 田村 豊**
福岡大学学長
- 4. 出口 義**
九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門教授
- 5. 坂口 竜一**
九州大学工学部建築学系都市計画学教授
- 6. 長谷川 康幸**
アーバンデザイナー、FTS Urban Design 代表
- 7. 山崎 貞樹**
日本建築学会福岡九州支部長

- 8. クリスチャン・ボンセン** (コペンハーゲン、デンマーク) デンマーク建築学会責任者、元コペンハーゲン・マルメ建築学会責任者
- 9. クリスチアナ・アラモント** (パリ、フランス) パリ交通計画局副局長、元パリ交通計画局長
- 10. チャールズ・リン** (台北、台湾) 国立台湾大学教授、元台南市都市計画局長
- 11. ブライアン・マクドナルド** (ジャカルタ、インドネシア) INTA 副会長、不動産開発会社社長、インドネシア学会副会長
- 12. ショルリス・マルケス** (バーゼル、スイス) INTA 事務局長、国際協力コーディネーター

天神橋筋を通りつくり協賛会
福岡市 協賛会事務局(天神橋筋1-16-1) | Telephone 012-737-4186
Fax 012-737-4189 | Email info@tenjin-ori.org URL www.tenjin-ori.org

高層建築「新しい国際社会における都市の再生」(仮題)
ロンドン・オセオム・ロンドン大学都市計画学部長
高層建築「新しい国際社会における都市の再生」(仮題)
ロンドン・オセオム・ロンドン大学都市計画学部長

主催 福岡都市フォーラム実行委員会(天神橋筋を通りつくり協賛会、We Love 天神橋筋、藤倉まちづくり推進委員会、福岡市) | 共催 九州大学、九州産業大学、福岡大学、中央学院大学、中央学院大学 | 協賛 藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会 | 協賛 藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会、藤倉まちづくり推進委員会

FUKUOKA URBAN FORUM

Work, Life & the City in the Future - by the City of Tokyo

11:00 海外事務報告 INTA

福岡都市フォーラムのテーマ

国境を越えた都市間競争と都市間連携が始まっています。福岡は、近きからの臨海玄関口、アジアゲートウェイと謳われていますが、はたして真に国際都市たり得るのでしょうか。日本国内でも都市に大きな役割として、その5割以上の建設人口は増加しています。ニュースワイドな真に国際メデイアの真の国際都市を模索しています。にもかかわらず実際のビジネスにおいては、福岡は世界にはあまり知られていないのが現状の様です。

この「可能性の都市」を世界的な都市地域のネットワークに「実存する都市」に変換しようと、都市再生に向け多様な挑戦が迫りました。福岡の都市のあり方、とりわけ天神南地区の20年連続のマスタープランを題材に、その戦略を論議するとともに、検証する目的で、国際的なまちづくり実務者機関「INTA（国際都市実務者協会）」パネルを招請し、市民参加型の国際的なフォーラムを開催します。

招聘した INTA パネルおよび福岡パネルの概点都市

INTA 会員2600 名の中から、「FUKUOKA」の開催に合わせたパネリスト（実務経験者）を選出いただきました。都市計画、都市経済学専門家、建築家、実務経験者、企業経営者など多様な「特別チーム」となりました。その選考の基準となっている要件を下記に上げ、「海外事務報告」ではこれらの都市をよびつづる事例からいくつかの視点を挙げています。

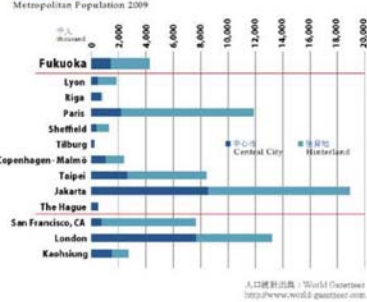
概点都市世界地図く世界が目が福岡を認る>



- パネリストの 10 + α 都市における実務実績
 1. 福岡、日本
 - 国内第4位の都市圏。国際統計では北九州市と一体、世界でも最も物しやの都市。
 2. リヨン、フランス
 - フランスの南東部の中心地。旧市街は世界文化遺産。食文化の都。
 3. シンガポール、シンガポール
 - アジアの東部の玄関口。「パネル海の実験」と呼ばれる美しい都市。旧市街は世界文化遺産。
 4. シェフィールド、英国
 - 工業都市。炭、ブロンズと鉄の都市。伝統と革新の両面を併せ持つ。学術・技術都市として再興。
 5. シンガポール、シンガポール
 - 国内第6位の都市。パネルが3度で最大の発展の都。旧市街は半島で栄えた都市。
 6. コペンハーゲン、デンマーク
 - 都市の中心。首都。北緯55度の世界都市。世界でも最も住みやすい都市。福祉社会のモデル都市（スウェーデン）と一体化。
 7. 台北、台湾
 - 台湾の発展の首都。東アジア地域の世界都市。商業、情報通信の中心。金融とサービス産業の都。
 8. ジャカルタ、インドネシア
 - 東南アジア最大の都市圏。首都。アジアの発展の中心地。
 9. ハーグ、オランダ
 - 国内第3位の都市。実質的な首都機能を担う政治都市。国際的な貿易の中心地。

その他：サンフランシスコ、ロンドン、高雄、など。

都市圏人口(2009年)



Region Works

■日程・主な会場

2009年4月5日(日)～4月9日(木)
 アクロス福岡/西鉄イン福岡

■聴く参加者数

725人(3期フォーラム492人、公開講座159人、都心ツアー68人、ビジネス研修16人)

■実施プログラム

日時	一般プログラム	聴取者プログラム
1日 4/5(日)	■開会式 10:00 開会式/アクリル打合せ 11:30 現地視察	■開会式 10:00 開会式/アクリル打合せ 11:30 現地視察 18:00 プレゼンテーション 歓迎挨拶(実行委員会) プレゼンテーション①:福岡市の都市政策 (住宅都市局長/理事、経済開発局長/企業誘致課長、港務局長/理船士) プレゼンテーション②:MDC グランドデザイン
2日 4/6(月)	■インクビュー ・非公開、非定員、少人数、同時通訳の意見交換(敬称略)	■インクビュー ・非公開、非定員、少人数、同時通訳の意見交換(敬称略) 榎本一彦(福岡地所会長) 小笠原明(日本政策投資銀行九州支店長) 津本俊夫(岩田建設社長) 津田順康(国家/ビタリ福岡事務局長) 谷田 俊(九州大学国際産学連携センター長)
3日 4/7(火)	■公開講座「フューチャーズ・ビジネス研修」 公開セミナーに先立ち、市民向けプログラムとして公開講座「都心ツアー」を実施。合わせて、ビジネス・メーカ向けワークショップも実施。 全事前申込制	■公開講座①(4/7、4/8両日とも午前) ○会場:西鉄イン福岡 ○参加者:聴く159人 ①経済基礎を基盤とした福岡のまちづくり、福岡市の経済振興政策(45人) ②九大生による都市デザイン研究発表(28人) ③エリアマネジメントによる価値創造(44人)
4日 4/8(水)	■ワークショップ ○参加料:500円(保険代など) ○参加者:聴く68人 (A)天神地区の開発史とオフィスをめぐぐるツアー(11人、16人) ③新・博多駅ビル工事現場見学会(特別企画)(15人、16人)	■地域交流会 We Love 天神協議会 博多駅まちづくり推進協議会 ■専門家ワークショップ ・INTAと日本の専門家の共同による提案の作成 ・九州大学、市、MDCの技術支援 ・英語(通訳無し) 【メンバー】 INTA:計10名(欧州から8名、アジアから2名) 日本:計7名(MDCアドバイザーなど) メンバーの詳細はページ参照 【テーマ】 ① 都市開発:都心開発と明治通りの都市デザイン ② 経済開発:国際的都市環境による地域経済振興

【ビジネス研修】(1/期)
 フューチャーズ・ワークショップ
 「NEWフューチャーズ・モデルの構築」
 ○参加者:16人
 ○全編研修:富士ゼロックス
 本フォーラム・イベント上、中長期的な課題解決を目指し、幅広い関係者が集まって対話する創造的な協議の場

5日
4/9(木)

■公開フォーラム
 【会場】アクロス福岡 【参加者】192人 【参加費】1,000円(資料代)
 【時間】開演 09:00～、開演 09:30 終演 18:00
 09:30 開会式(福岡市長、天神南地区まちづくり協議会会長、INTA 総長)
 09:45 基調講演「新しい国際社会における都市の再生」
 (シンガポール・カモメ命題アジア太平洋大学学長)
 10:30 ケーススタディ「天神南地区のグランドデザイン」(MDC)
 11:00 産学連携報告 (INTA)
 コペンハーゲン(コンマン)、高雄、台北(市)、シェフィールド(ダハガート)、ソウル(市)、バンコク(市)
 14:00 INTA 報告 (INTA)
 15:00 ラウンドテーブル(福岡東のワークショップ参加者、モデル・まちづくり委員)
 18:00 講演
 18:30 カクテル・パーティー 全事前申込み制

■参加した INTA 専門家

1. アンリ・シヤベック (フランス): コシビル市長、元九州議会及び国会議員
2. マリス・ドリスバ (シドニア): 建築家、外務省特命大使、元文化大使
3. ガンゲイユ・ケリマン (フランス): 建築家・都市プランナー、パリヤ・スル学校・ベルグ・大学教授
4. マイク・ガル・ガン (韓国): 都市プランナー、元韓国政府顧問
5. マイク・グランドマン (オランダ): 都市計画研究所長、建築家
6. クリスティアン・マンセン (デンマーク): 首都圏地域開発責任者、元コペンハーゲン・マルメ国際都市責任者
7. クリスティアン・ラモントール (フランス): パリ市交通公団不動産プロジェクトマネージャー
8. ケン・リン (台湾): 国立台湾大学准教授、元内務省計画課長
9. ブリアン・ス・ス・ライオナ (インドネシア): INTA 総長、不動産開発会社社長、インドネシア国会議員
10. ミシェル・スタルスマス (オランダ): INTA 専務局長、国際協力専門家

■参加した日本専門家

1. 宮原 敬 (都市プランナー、INTA 総長)
2. 山口 敬 (九州大学大学院環境学研究所教授)
3. 田村 繁 (福岡大学学長)
4. 坂口 光一 (九州大学総合学術センター)
5. 佐々木 幸孝 (都市デザイナー)
6. 星野 浩明 (日本政策投資銀行九州支店副支店長)
7. 村田 隆二 (福岡市まちづくり協議会理事長)

■企画委員会

1. 高橋 繁行 (MDC 会長)
2. 高橋 和行 (MDC 副会長)
3. 栗原 敬 (MDC アドバイザー)
4. 新井 典典 (福岡市都市再生課長)
5. 高橋 敬 (福岡市国際経済部企画課長)
6. ミシェル・スタルスマス (INTA 専務局長)
7. モンテ・カサス (MDC アドバイザー)
8. 山田 公典 (MDC 副会長)
9. 中村 博二 (MDC 技術顧問)
10. 出口 俊 (MDC アドバイザー)
11. 田村 繁 (MDC アドバイザー)
12. 坂口 浩 (MDC アドバイザー)
13. 坂口 光一 (MDC アドバイザー)

Region Works

国際知識経済都市会議／IRBC第3回年次会議

日時 2010年7月7日～9日
 主催 国際知識経済都市会議実行委員会
 テーマ Knowledge Regions (知識経済地域)
 参加者 61人 (公開シンポ参加者を除く)



Region Works

12の示唆：学びを整理する軸、地域戦略を描く基盤

1. 方向：
 地域戦略で目指すのは、
国際競争力の強化による地域の持続的な発展
2. 目標：
 地域戦略の最重要目標は、**質の高い雇用の創造**
3. 課題：
 戦略的に取り組むべき課題は、**知識の事業化**
4. 糸口：
 問題解決の糸口は、**革新、国際化、起業家**。
 この3つを兼ね備えていることが必要
5. 地理：
 地域戦略の地理的単位は経済活動単位である**都市圏**
6. 主体：
 地域戦略の策定及び実施管理の主体は**産学官連携組織**
7. 機能：
 主体に求められる3つの機能は、
 ①**広域圏のデータ収集管理と分析**
 ②**戦略的な経済シナリオの構想**
 ③**事業実施における関係者の牽引**
8. 体制：
 機能の中核となるのは、
 責任と権限・予算を持つ中立な**専門家組織**
9. 姿勢：
 現状に即した将来の姿の確認と、
積極的に未来を創造する意識のブランディング
 = 「共同幻想」を具現化させる姿勢
10. 人材：
志とビジネス基礎力 (英語、財務、ICT) を持ち、
 起床時から仕事に没頭する人材
11. 構成：
 地域戦略は、①**ビジョン・目標**、②**戦略計画**、③**プロジェクト**から構成
 戦略計画の主要な分野は**(1)経済産業振興**、**(2)まちづくり**
12. 時間軸：
 長期目標と短期目標を達成する
調査・学習・企画・展開のサイクル

Region Works

地域戦略フォーラム

FUKUOKA REGIONAL STRATEGY FORUM

地域戦略フォーラム

国際知識経済都市会議からFUKUOKAの地域戦略を考える

2010年9月1日(水) 13:00-17:00 (入場券1,000円)



モデレーター

中川 茂氏



西日本新聞社編集局長報道センター長
1952年生まれ。56歳。佐世保市出身。1975年中央大学法学部卒業、西日本新聞社入社。社会部、経済部、東京特派員、東京特派員、編集部長を経て2009年より現職。主に経済部を主とし、専門の地域活性化のプロジェクトを交差しながら担当。福岡県中、11月で報道部長(OU E)などのコンメンターを兼任。村上隆・橋本聖子(半島在住)の発起人、西日本新聞社「福川人記」のモデル。

高崎 繁行



西日本鉄道株式会社 取締役執行役員 経営企画部長
1980年東京工業大学大学院総合理工学研究科社会工学専攻修了。西日本鉄道株式会社入社。広報部長、企画部長(福岡支店部長)、ブランド委員会委員長等を経て、2008年より現職。「天神渡り通り」(2002年-)、「天神渡り通り」(2004年)、「新心構想決定委員会(2005年)」、「We Love天神協議会(2006年)」等に携わる。現在「天神渡り通り」(2006年-)の理事長として、ブランドデザインの策定、福岡都市フォーラム開催のほか、地区全体の地区計画の都市計画決定に向けた取り組みを行っている。
九州経済産業交通政策委員の企画部長、今回のIRFC実行委員会では実行委員を務める。

渡辺 正光



福岡市都市企画局長
昭和28年3月8日生。昭和51年西宮学院大学(法学部)卒業。昭和51年福岡市役所入庁。平成0年副市長、平成11年市長(事務局長(事務局長プロジェクト担当)、平成12年市長(事務局長(報道担当)、平成14年総務企画部長(アイルランドシティアソシエーション)、平成17年港湾地理事、平成19年経済産業局長を歴任し、平成22年より現職。

倉地幸徳



九州大学理事(副学長) 国際化推進部長
昭和45年九州大学工学部機械工学科卒業。ワシントン大学医学部動物学専攻にホストドクトラルフェローとして留学。昭和53年ワシントン大学医学部生物化学科アシエイトフェロー、昭和56年ハーバード大学医学部講師。平成2年ミシガン大学医学部人科遺伝学専攻教授、平成4年独立行政法人産業技術総合研究所ゲノム・システムバイオロジーセンター長、平成11年独立行政法人産業技術総合研究所生命工学研究センター長を経て、平成22年より現職。

後藤 大一



会長 福岡県「シラボロトリー」代表社長
国際知識経済都市会議実行委員会ワーキンググループリーダー
1982年東京大学工学部都市工学専攻卒業。藤田建設(株)入社。1997年米沢カリフォルニア大学都市計画学専攻修了。2003年(現)福岡アジア都市研究所に転向のため来福。2006年に福岡新都市開発(株)に転換し、福岡を拠点に定める。2007年に独立して現職。都市開発と経済開発の推進に従事。文芸春秋「福岡ポートランド都市自治体「メトロ」」にて政策提言の策定に貢献した経歴を、現職した福岡を拠点に、アジアの発展を模索している。一般社団法人 福岡都市圏研究会(ACF)、九州大学都市圏協議会、九州経済フォーラム理事、We Love天神協議会幹事、天神渡り通り「天神渡り通り」協議会統括マネージャー。

地域戦略フォーラム 宣言

新しい挑戦を共にはじめよう

福岡の未来に関心を持つすべてのみなさまへ

(はじめに)

この提言は、国際知識経済都市会議実行委員会から、本日のフォーラム参加者に、そして福岡の未来に関心を持つすべての人々に対する「新しい挑戦」への招待です。

世界中で人材と投資を巡る地域間競争が激化する一方で、日本や福岡は人口減少や財政逼迫にも直面しており、従来のやり方を継続するだけでは経済・社会の閉塞感は破れません。そこで、私たちは、国際知識経済都市会議から学んだこと、例えば「選別解決から未来創造へ」「個別から連携へ」「計画から戦略へ」「検討から行動へ」などの示唆を活かして、新しい挑戦を始めました。

(新しい挑戦)

新しい挑戦の始まりは、「新しい公共」の設立、すなわち産官学民が連携して地域の未来を創造するパートナーシップの設立です。そこに地域の志と知と力を結集して、相互に学び合いながらビジョンを共有し、福岡都市圏の国際競争力の強化に向けた戦略の策定と推進をめざします。

パートナーシップとは、主体性を持つ関係者が対等に連携・協力し、これによって創出される相乗効果を通して、単独では実現困難な事業目的を効果的に達成する連合体のことです。これによって各々が持つ限られた資源を、効果的かつ効率的に束ねて活用すると共に、戦略的なプロジェクトに取組むことが容易となります。

この方法が100%成功する保証はありません。しかし、私たちは、国際知識経済都市会議の準備から実施までの経験を通じて、そして世界各地でこの方法が効果的に実施されていることを学んだ結果、この方法が最も成功の公算が大きい現実的な方法であると確信します。

(参画の呼びかけ)

来春の九州新幹線の全線開業と新・博多駅開業、海外からも賞賛される福岡の高い潜在力、そして激力ながら私たちの口火、これら天地人の条件が揃った今こそ、勇気を出して挑戦を始める時です。私たちは、速やかに準備会議を設置し、開かれた勉強会を重ねながら、2011年1月のパートナーシップ設立を目指して準備を進めていきます。

私たちは、一人でも多くの方が、この新しい挑戦にご参画いただくことを願っています。世界に輝く福岡の未来を自律的に創造していくために。そして、日本の未来にも繋げていくために。

2010年9月1日
国際知識経済都市会議実行委員会

2010年11月11日
 国土審議会政策部会国土政策検討委員会
 地域戦略検討グループ（第3回）

福岡都市圏の国際競争力強化に向けた 官民連携の取り組みについて



橋田 紘一
 株式会社九電工代表取締役社長

新たな取り組みの趣旨と方向性

15

国際競争力強化の視点から、九州・福岡を牽引する福岡都市圏の成長戦略を策定し実行するための、産官学民連携主体を新設する

- ・ 7つのキーワード
 - 産官学民の連携
 - 福岡都市圏
 - 国際競争力の強化
 - 徹底した地域診断
 - 成長分野の選択
 - プロジェクトの進捗管理
 - 専任の専門家集団

■ 設立の趣旨

世界的な経済危機の影響による景気や雇用情勢の悪化が進む中、地域そして日本の成長のためには、地域経済の発展等が不可欠だとして、**産官学民**がそれぞれ力を合わせて一体となって取り組んでいく必要がある。

■ 検討の方向性

福岡都市圏は、陸と海の玄関口の整備、九州新幹線の全線開通などによって人・モノ・情報の交流が質量共に活性化する機会を捉え、地域の**国際競争力の強化**により地域経済の活性化を進める。また、アジアとの近接性や多様な人材集積を生かし、**徹底した地域診断**を踏まえて将来に向けた戦略を描き、**成長分野を選択**し、官民連携主体で推進することで、福岡の持続的成長を生み出していき、それを日本の成長につなげていくことを目的とする。今回形成される官民連携主体においては、全体の地域戦略計画を策定する地域戦略部会を設置し、個別のプロジェクトを遂行する部会の**進捗管理**を実施する。加えて、実務の専門性を高めるため、事務局(=シンク&ドゥタンク)は、**専任の専門家集団**をおく。

(官民連携主体設立準備会(仮称)幹事会)

官民連携主体設立準備会(仮称)の設立

民間企業数社と地方自治体(福岡市、福岡県)、九州大学、経済団体などで、官民連携主体の準備組織を2010年11月に設立予定である

取組み内容

- 官民連携主体の取組みで目指す将来像(仮説)の策定
- 官民連携主体の運営方法の検討
- シンク&ドゥタンクの形態の検討
- 官民連携主体への参画対象への呼びかけ

メンバー

・顧問:

- 福岡県
- (社)九州経済連合会
- 福岡商工会議所

・会員:

-幹事会 (*事務局)

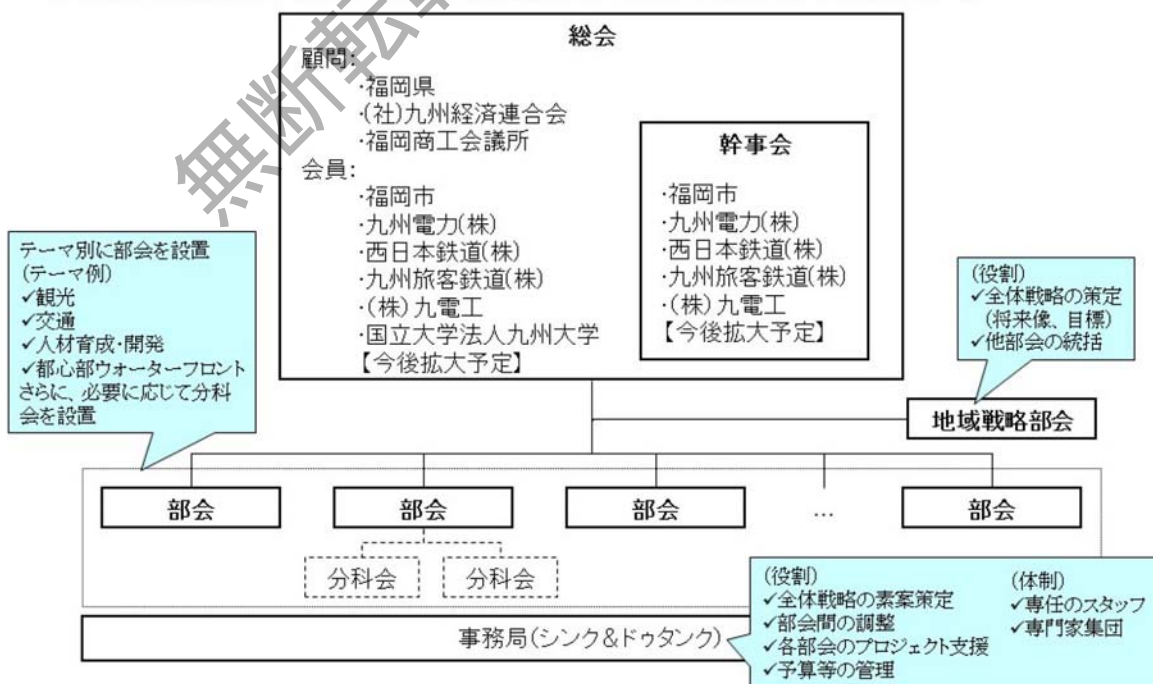
- | | | |
|------------|--------------------|--------|
| ・福岡市* | 総務企画局長 | 渡辺 正光 |
| ・九州電力(株) | 取締役 常務執行役員 経営企画本部長 | 梨田 一海 |
| ・西日本鉄道(株) | 取締役 執行役員 経営企画本部長 | 高崎 繁行 |
| ・九州旅客鉄道(株) | 常務取締役 総合企画本部長 | 本郷 譲 |
| ・(株)九電工* | 取締役 専務執行役員 | 佐々木 健一 |

-一般会員

- ・国立大学法人九州大学

新たな官民連携主体のイメージ(案)

産官学民の幅広い参加による公共性、意思決定の迅速性、戦略による統括性、事務局の実務専門性を備えた新組織を、2011年4月目途で設立する



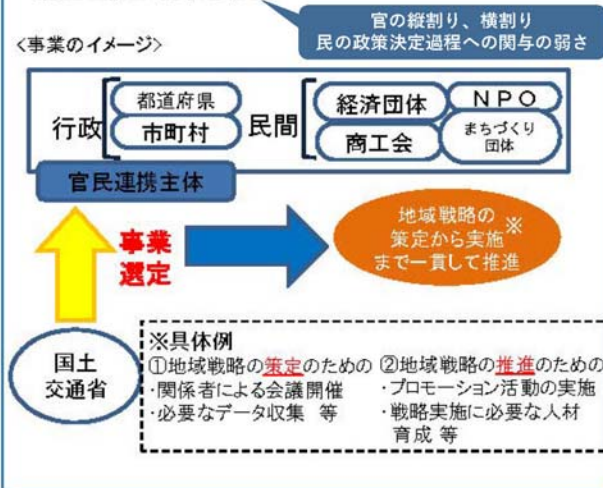
＜事業の目的＞

「官民連携主体」が地域戦略の策定段階から実施に至るまで一貫して関与することができるよう、「官民連携主体」の活動を支援し、その活動過程の分析から「官民連携主体」が組織として地域戦略の策定・実施を担っていくにあたり必要となる国の支援制度のあり方を調査することを目的とする。

1. 事業内容

モデルケースとなる「官民連携主体」を選定し、「官民連携主体」が地域づくりのための**戦略の策定(シンク)から実施(ドゥ)**までの諸活動を実際に行う過程を通じて、課題の抽出・分析を行う。

＜事業のイメージ＞



2. 事業実施状況

平成23年度は、5団体を選定し(補正予算で実施した東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト推進事業の2団体を含む)、**戦略の策定(シンク)**を中心に検証。

- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)
- 歴史街道推進機構
- 福岡地域戦略推進協議会 (FDC)
- 東北・夢の桜街道推進協議会
- 東北観光推進機構

平成24年度は、5団体を選定し、**戦略の実施(ドゥ)**を中心に検証。

- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)
- 歴史街道推進機構
- 福岡地域戦略推進協議会 (FDC)
- 東北・夢の桜街道推進協議会
- 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議

地域戦略フォーラムでのワールドカフェ式の対話



世界と共に情勢を認識し戦略を組み立てている



Region Works

